

# センターの選考及び区市町村事業との関連について（案）

## 公募・選考のスケジュール(予定)

平成27年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
(2月19日) 公募説明会 公募実施		(中旬) 公募〆切	ヒアリング (応募医療機 関・区市町 村)	選考委員会 厚生労働省 協議		指定決定 (指定できな かった地域は 再公募を実 施)

## 選考方法について

◆有識者を含む認知症疾患医療センター選考委員会において、応募者からの提出書類・ヒアリングの内容等を選考基準に基づいて総合的に評価し、指定医療機関を選定する。

### 選考委員会について(案)

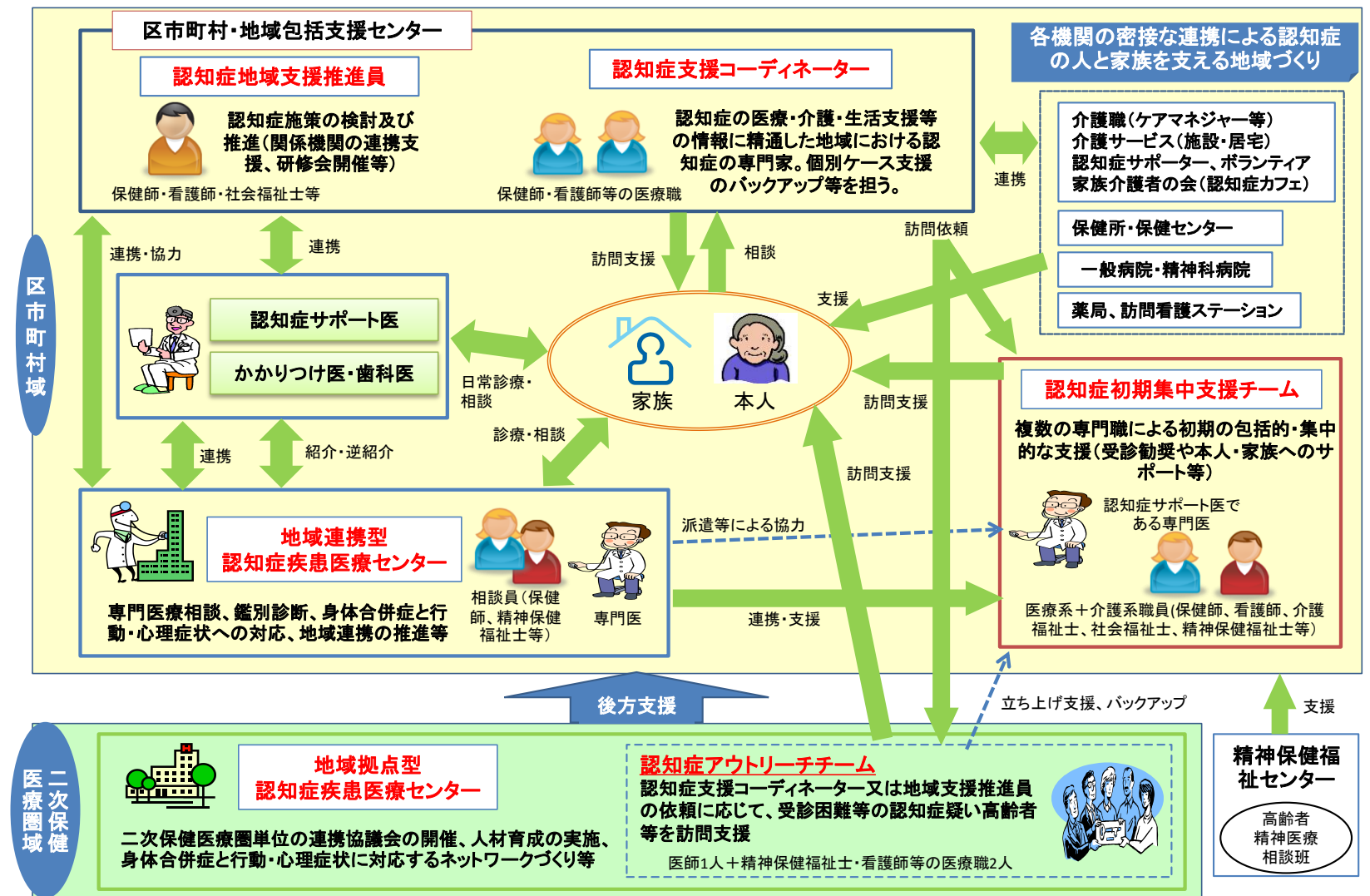
- ◆委員会は、次に掲げる委員12名以内をもって構成し、福祉保健局長が委嘱又は任命する。
  - (1) 学識経験者、医療関係者、介護関係者、区市町村、家族代表
  - (2) 東京都福祉保健局職員(高齢社会対策部ほか関係部署、保健所)
- ◆委員氏名、会議並びに会議録及び会議に係る資料は、非公開とする。

## 選考基準(案)

- (1) 設置基準を満たしていること  
「都における認知症疾患医療センターの類型(案)」における設置基準(人員体制、検査体制等)を満たしていること(見込みを含む)。
- (2) 求められる機能に対応できること  
「都における認知症疾患医療センターの類型(案)」における機能の各項目に対応できる実績と意欲を有すること。
- (3) 重要な評価項目  
「東京都における認知症疾患医療センターのあり方検討部会」(平成24年度)において、東京都認知症疾患医療センターに求められる特に重要な役割とされた以下の2項目について評価できること。
  - ① 「身体合併症・行動心理症状」への対応能力
  - ② 「地域連携の推進」に向けた、これまでの取組状況及び今後の取組の考え方
- (4) 考慮する事項  
選考にあたっては、当該医療機関が所在する区市町村及び二次保健医療圏の高齢者人口、医療資源、地理的要因等の状況を考慮する。

## 都における認知症の人と家族の生活を支える医療体制のイメージ図

※区市町村はこのイメージ図を参考に、各地域の実情に応じた体制のイメージ図を作成する。



## 各事業の比較

事業名	実施主体	実施規模	配置場所	研修実施機関	財源
認知症初期集中支援チーム	区市町村	平成30年4月までにすべての区市町村で配置	地域包括支援センター、病院、診療所等	独立行政法人国立長寿医療研究センター	地域支援事業交付金(包括的支援事業)
認知症地域支援推進員			区市町村本庁、地域包括支援センター等	①社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター ②認知症支援推進センター(東京都健康長寿医療センター)	
認知症支援コーディネーター		平成27年度 40区市町村(平成27年1月現在27区市)	区市町村本庁又は地域包括支援センター	認知症支援推進センター(東京都健康長寿医療センター)	東京都補助金
認知症アウトリーチチーム	東京都	12か所の認知症疾患医療センターに配置	地域拠点型認知症疾患医療センター		東京都から委託